

5クラブ合同例会

国際ロータリー2580地区
2025～2026年度 北・豊島・板橋グループ
5クラブ合同例会プログラム

開催日 2026年5月18日(月)
会場 ホテルメトロポリタン
合同例会 4階「桜」
(食事会場3階「カシオペア」)

11:30 登録、食事 3階「カシオペア」
○登録開始(3階カシオペア前)
○昼食(3階「カシオペア」)12時20分頃まで

12:30 合同例会会場 4階「桜」
○点鐘および開会
東京池袋西RC会長 前田康行
○国歌、ロータリソング斉唱「我等の生業」
○ホストクラブ会長挨拶
東京池袋西RC会長 前田康行
○今年度5クラブ会長幹事挨拶・活動報告
各クラブ今年度 会長・幹事
○次年度5クラブ会長・幹事紹介
各クラブ次年度 会長・幹事
○今年度ガバナー補佐挨拶
東京池袋西RC 中里隆重
○次年度ガバナー補佐紹介
東京板橋RC 星亀賢一

13:15 基調講演(45分)
岡崎 梨乃(おかざき りの)
「多様性について
～女性、Z世代、外国人との
コミュニケーションについて考える」

14:00
○閉会挨拶点鐘
東京池袋西RC会長 前田康行



合併号 3114・15回
東京池袋豊島東ロータリークラブ 第32・33回例会 2026/5/28

Weekly Report



会長：榊原一久 幹事：佐藤美枝子 RI会長：フランチェスコ・アレツォ 第2580地区ガバナー：中川雅雄

四字熟語でロータリー 経世済民 (けいせいさいみん)

国や世の中をよく治め、人々を苦しみから救うことです。略して、経済になります。荻生徂徠は、儒教が説く個人の修養よりも、世を治め、民を救うことを重視しました。ロータリーでは、他者に対する信頼と誠実な態度を重んずる倫理意識が求められます。(小泉博明)

本日の例会

5月28日(木)12:30～13:30
卓話:「娘1歳、父はステージ4
小腸がんと生きた10年」
卓話者:産経新聞 論説副委員長
坂井 広志様
紹介者:佐藤久雄 元会員

次回の例会

6月4日(木)12:30～13:30
卓話:「会員増強フォーラム」
会員増強今年度委員長 石川宣司会員
次年度委員長 長尾益男会員

5月14日 例会報告

司会 森川会員
開会点鐘 榊原会長
ロータリーソング
ソングリーダー 石川会員
会員総数 28名
出席規定適用者数 22名
本日の出席者総数 20名
// 免除者出席数 5名
本日の出席率 74.07%

ゲスト
今年度米山奨学生
エンフタイムン、エンフアムガランさん

会長報告

- 4月24日(金)に開催された台北東海ロータリークラブ31周年記念式典に幹事と共に出席して参りました。詳細は、週報をご覧ください。
- ガバナー月信5月号が送付されました。
- ロータリーの友5月号は青少年奉仕月間ということで青少年交換を中心とした記事となっておりますので、ご参照ください。

幹事報告

- 為替レート
2026年5月 1.00ドル当たり 160円
- 5月18日合同例会の開催
- ホームミーティング開催
- 事務局橋村さんの常勤の開始
5月21日から



今年度米山奨学生エンフタイムン、エンフアムガランさんと米山カウンセラー山本会員

5月

受付:長尾益男会員 山本伸也会員
司会:宮部一弘会員 ニコニコ:宮代昌三会員
写真:加古博昭会員 ソングリーダー:吉田武輝会員



ニコニコ

- 鈴木会員 5月28日に84才になります。半分はロータリーに在籍したということになります。
- 森川会員 76才になりました。誕生日のお祝ありがとうございます。
- 中川会員 皆出席39年ありがとうございます。42才で入会しずいぶん年が経ちました。今は足の病気でご迷惑をおかけしています。これからもよろしくお願ひ致します。
- 宮代会員 今日はニコニコの担当
みなさんの御協力を願って！
本日の合計額：17,000円
今年度ニコニコ累計額：479,250円

第11回理事会報告

日時：2026年5月14日(木)11時～12時25分

議題 報告事項

- ①榊原会長より2025-2026年度4月会計報告。豊島新聞の購読継続の是非について、次年度公共イメージ向上委員会で検討するものとする。
- ②国際ロータリー為替レートの4月は1\$160円。
- ③5-6月の例会日程が佐藤幹事より説明があった。(6月4日の卓話は、会員増強フォーラムとしたいとの意見あり、今後新旧委員長に確認。また6月11日の新旧クラブ協議会は30分から45分間に延長する)
- ④石塚親睦副委員長より最終夜間例会の式次第と収支予想の説明があった。

審議事項

- ⑤稲川会員を偲ぶ会の開催について、クラブ主催で行うものとする。日程と会場については会長と佐藤幹事が詰めて案内するものとする。他クラブへの案内は北分区(現在はグループ)と一部地区関係者へ案内する。(開催準備は、親睦委員にもお願ひする)
- ⑥衛星クラブの合同例会の人頭分担金については、本クラブで立替払いを行い、その精算は榊原会長と衛星クラブの引間議長との間で協議し処理方法を決定する。衛星クラブの人頭分担金については、次年度の4クラブ会長幹事会で議題に乗せ、減免を含め協議することとする。
- ⑦前回理事会で継続審議となった2024-2025年度の¥790,265の欠損処理については、基金からの取り崩しを行わず¥790,265の赤字決算のままとし元金口座減額で対応する。
- ⑧稲川会員への追悼文を浅原会員(稲川会員ともっともロータリー歴が長いので)に作成をお願いする方向で、週報に掲載したいと佐藤幹事から報告があった。



5月お誕生日
鈴木会員・森川会員

第2回ホームミーティング



ホームミーティング(Cグループ)報告

5月14日(木)18:00に、Cグループはホテルメトロポリタン「桂林」にて開催した。円卓を囲み、美味なる中華料理を堪能しつつ、テーマを設けることなく、和気藹々、沈着冷静に、時には議論が過熱して談論風発、丁々発止となったが、終始和やかな雰囲気の中かで時間を共有した。多岐に亙る議題が挙げられたが、クラブの諸課題を分析しつつ、将来の展望について意見交換を行うことができ大変有意義であった。いつの間にか3時間、21:00にお開きとなった。また、石塚会長エレクトにエールを送り、これからの奉仕活動の方向性やクラブ運営の未来を託した。

(参加者)
石塚丈晴、里見雅行、山本伸也、小泉博明
(小泉博明)

2026-27会長エレクト方針



会長テーマ

調和と継承

経験豊かな会員と次の世代が共に学び合い、
伝統を未来へつなぐ

東京池袋豊島東ロータリークラブの強みを、次の一年へ。

Message

「調和と継承」に込めた思い

伝統を守るだけでも、新しさを追うだけでもなく、
両者が響き合う一年へ
違いを、力に変える。

経験豊かな会員と次の世代を担う会員が互いに学び合い、尊重し合うことで、クラブとしての調和をさらに深めていく一年にしたいと考えています。

社会環境が大きく変化する中、従来どおりのクラブ運営だけでは、将来的に行き詰まりが生じることも懸念されます。だからこそ今、私たちのクラブには、新しい視点や柔軟な発想を積極的に取り入れていく姿勢が求められています。

「調和と継承」とは、単に伝統を守ることでなく、新しさだけを追い求めることでもありません。これまで築いてきた歴史や価値を大切にしながら、新たな考え方や次世代の力と響き合い、未来へ歩みを進めていく姿勢を意味します。

次年度は、当クラブの歴史と伝統を尊重しつつ、次の世代が自然にバトンを受け取る環境づくりを進めてまいります。そして、会員一人ひとりが「このクラブに入って良かった」と心から実感できるクラブ運営を目指します。

Action plan

活動計画：4つの柱

- 1 伝統の継承
- 2 会員増強
- 3 奉仕活動
- 4 情報発信

この4つを、無理なく、しかし着実に進めます。

Pillar 1

① 伝統の継承とロータリー精神の再確認

- ・過去のクラブ活動や奉仕の歩みを振り返り、クラブのアイデンティティを共有する
- ・在籍年数の浅い会員へのオリエンテーションを強化し、クラブ文化の継承を図る

Pillar 2

② 会員増強とクラブの持続可能性の確保

- ・経験豊かな会員のネットワークと、次の世代の視点を活かした増強活動を推進する
- ・時代や会員構成の変化を踏まえ、例会や委員会活動を含めたクラブ運営方法の見直しを図り、持続可能なクラブづくりを進める

Pillar 3

③ 地域社会への奉仕活動の継続と発展

- ・既存の奉仕活動(子どもカルタ・子ども講談・児童養護施設錦華学院への支援・WAKUWAKU子どもネットワークへのフードサポート活動等)を継続しつつ、より効果的な形へ発展させる
- ・衛星クラブやローターアクトとの交流を深め、若い世代のアイデアを取り入れながら、参加しやすい奉仕活動を企画し、未来のロータリアン育成につなげる

Pillar 4

④ 情報発信とクラブの価値向上

- ・週報・ホームページに加えてSNSを活用し、クラブの活動をわかりやすく発信する
- ・若い世代にも届く発信方法を検討し、クラブの未来につなげる

Request

会員の皆さまへお願い

- 1 歴史と経験を教えてください
- 2 新しい考え方ややり方を温かく迎えてください
- 3 奉仕と親睦を積極的に参加して楽しんでください
- 4 次の世代へ、自然にバトンをつないでください

Closing message

目指すクラブの姿

経験を尊重し、
新しい参加を歓迎し、
地域に長く残る奉仕を続ける。

それが「調和と継承」の一年です。